

令和7年度 第1学年 技術・家庭科（家庭） 年間指導計画・評価規準

月	指導項目	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
4	家庭分野のガイダンス	・家庭や家族の機能について考えよう。 ・家庭や家族の基本的な機能について考える。 ・自分の成長を振り返り、自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられていることに気づく。 ・これまでの家庭生活や小学校家庭科の学習内容を振り返る。 ・中学校での学習内容に興味を持ち、3学年間の学習の見通しを持つ。 ・各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。			
5 6 7	2編1章 衣服の選択と手入れ ①どうして衣服を着るのだろう 2編1章 衣服の選択と手入れ ②私らしさとT.P.O. ～着方の工夫～ 2編1章 衣服の選択と手入れ ③日本の衣文化 2編1章 衣服の選択と手入れ ④衣服計画と必要な衣服の選択 2編1章 衣服の選択と手入れ ⑤衣服の手入れ 2編2章 生活を豊かにするために ②持続可能な衣生活を目指して	・衣服の目的に応じた着方や個性を生かした着方を考えながら、衣服の働きをまとめる。 ・個性を生かした服装について知り、自分らしい着方を考える。 ・日本の伝統的な衣文化について知り、和服と洋服の構成や着方の違いに気づく。 ・衣服調べをして、必要な衣服の数量を把握し、過不足や処分の仕方を考える。 ・手持ちの衣服の活用を考えながら、表示や縫製の良否、手入れの方法や価格など、既製の適切な選択方法を知る。 ・衣服の洗濯や補修などの手入れの必要性を理解し、衣服の材料や状態に応じた手入れの方法を知る。 ・持続可能な衣生活を目指して、衣服計画を立て、衣服の活用や管理の方法を工夫する。	・衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ・目的に応じた着用について理解している。 ・個性を生かす着用について理解している。 ・衣服と社会生活との関わり（和服）について理解している。 ・衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性について理解をしている。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	・衣服の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方（洗濯、収納、補修、アイロンなど）について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・目的に応じた着用を踏まえた自分らしい着方について、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・衣文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方（洗濯、収納、補修、アイロンなど）について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい衣生活を目指して、衣服の選択と手入れや生活を豊かにするための布を用いた製作について、工夫し創造し、実践しようとしている。	

月	指導項目	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
9 10 11 12	2編2章 生活を豊かにするために ①作って楽しい布作品	・生活の中で、あるといいなと思うものを考えさせる。 ・製作に必要な材料や用具、製作手順や時間などの見通しを持つ。 ・身の回りの生活を快適にしたり、資源や環境に配慮したりするなど、自分や家族、地域の人々の生活を豊かにする具体的な物を製作する。	・製作する物に適した材料や縫い方について理解している。 ・用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	

月	指導項目	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 2 3	3編1章 住まいの役割と安全な住まい方 ①もしも住まいがなかったら3編1章 住まいの役割と安全な住まい方 ②住まいと気候風土の関わり3編1章 住まいの役割と安全な住まい方 ③健康で快適な室内環境3編1章 住まいの役割と安全な住まい方 ④家族の住まいを安全・安心に3編1章 住まいの役割と安全な住まい方 ⑤災害への対策3編1章 住まいの役割と安全な住まい方 ⑥持続可能な住生活を目指して「SDGs」	・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・自分や家族の生活と住まい方との関わりを考える。 ・和式の住まい方が現代にも受け継がれていることを理解する。 ・日本では各地の気候に合わせた住まいの特徴があることに気づく。 ・健康で快適な室内環境の条件を知り、改善方法を考える。 ・家庭内事故とその原因について知り、安全に住むために改善できることを考える。 ・住まいの災害対策について知り、災害に備えてできることを考える。 ・持続可能な住生活のために、課題を見つけ、改善方法を考える。	・家族の生活と住空間との関わりについて理解している。 ・住居の基本的な機能について理解している。 ・家族の生活と住空間(和式と洋式など)との関わりについて理解している。 ・室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・室内の空気環境など、家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。 ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、考え工夫している。 ・家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、考え工夫している。	・住文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・室内の空気環境など、家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい住生活を目指して、住居の機能と安全な住まい方について、工夫し創造し、実践しようとしている。	